

【A 島原市-有明エリア Shimabara City-Ariake Area】



本多 久美子氏

舞岳山荘から(平成新山)

島原市-有明エリアでは、“北東面の雲仙岳”が眺望できます。小中学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。山並みとしては、眉山～平成新山～鉢巻山と多くの山々が見えますが、当エリアのシンボルの山は舞岳です(↓)。

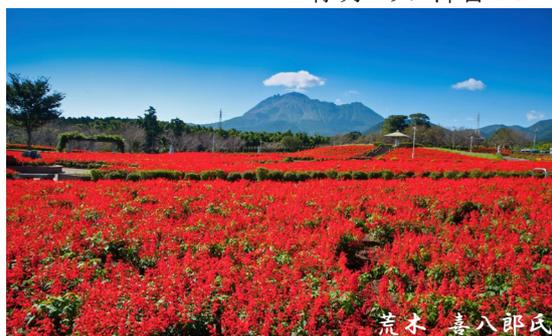
お椀を伏せたような形状をしたこの山は、一説には古代の祭祀が行われた場所ともされ、舞岳の山頂からは普賢岳・平成新山が間近に見られます(↑)。近隣の眉山の名が前山⇒マイ山⇒眉山と変遷していることを踏まえれば、舞岳も“前岳”が転じたものと考えられます(奥にある普賢岳に対しての名称)。このような舞岳の自然を楽しめる遊歩道として、8888 段のふれあいロードが整備されています。雲仙岳の山岳信仰が盛んであった往時をしのばせるものとして、温泉神社の分社が3社(湯江(ゆえ)・大野・大三東(おおみさき)温泉神社)、現存しています。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、有明エリアを旅してみませんか？

- 有明エリアの観光情報はこちら ⇒ 株式会社島原観光ビューロー <http://www.shimabaraonsen.com/>



有明エリア沖合のフェリー船上から(北東から)



荒木 喜八郎氏

有明フラワー公園から



有明エリアのシンボル“舞岳”